鶴見の兄弟愈々起つ

咲夕チミ蒼の兄弟大示威運動を決行す!!

血迷つた警官 抜剣して狂ふ

争議団幹部高橋君外九名重傷を負ふ

鶴見仟三百の兄弟は七月廿五日争議団大会を開き一時的休戦を宣し各工場に帰れ。然し組合闘争は工場内で継続されてゐたのだ。

暴虐!! 迫害が資本家官憲を極むれな極まり闘ひ同志の攻撃は益々血の雨をクグッて「再び起つのだ!!」の決意は固まり復讐の炎は燃ゆる。

悪くの職場個々会は再起を誓ひ新に軍を整へて植へた、十九日の職場代表者会議は二十五日従業員大会を開催して会社へ再要求をタタキ付け誓を宣言する事を決議した

憤激高潮に達した全従業員は示威で工場を像失す

二十一日夕千五百の兄弟は工場から出るや広場に全員集合し演説を始め〇〇歌を唱へ赤旗を先頭に争議団本部へと一大示威運動を決行した。

これを聞きつけた警察部隊は周章狼狽し数十の警官を兄弟の示威運動の鎮圧に差し向け血迷つた警官は狂せる盲人の如く抜剣して兄弟を切り斬り払ひ其処の狂暴振りを発揮した

見よ!! 流血の惨事に浴びせた此の暴虐

争議団幹部負傷者

此の血に狂ふ獰猛な警察の狂刃に争議団幹部高橋君外は倒れた。此の現状を見せ付けられた全従業員の憤激は高鳴り 五十名の乱闘の後血迷つた警察に検束されんとする同志と赤旗を奪還した、だが獰猛な警察部隊は非常召集され我々の抗議も空しく争議団幹部を襲ひ争議団幹部を全部検束した

財團 協調會
法人 館